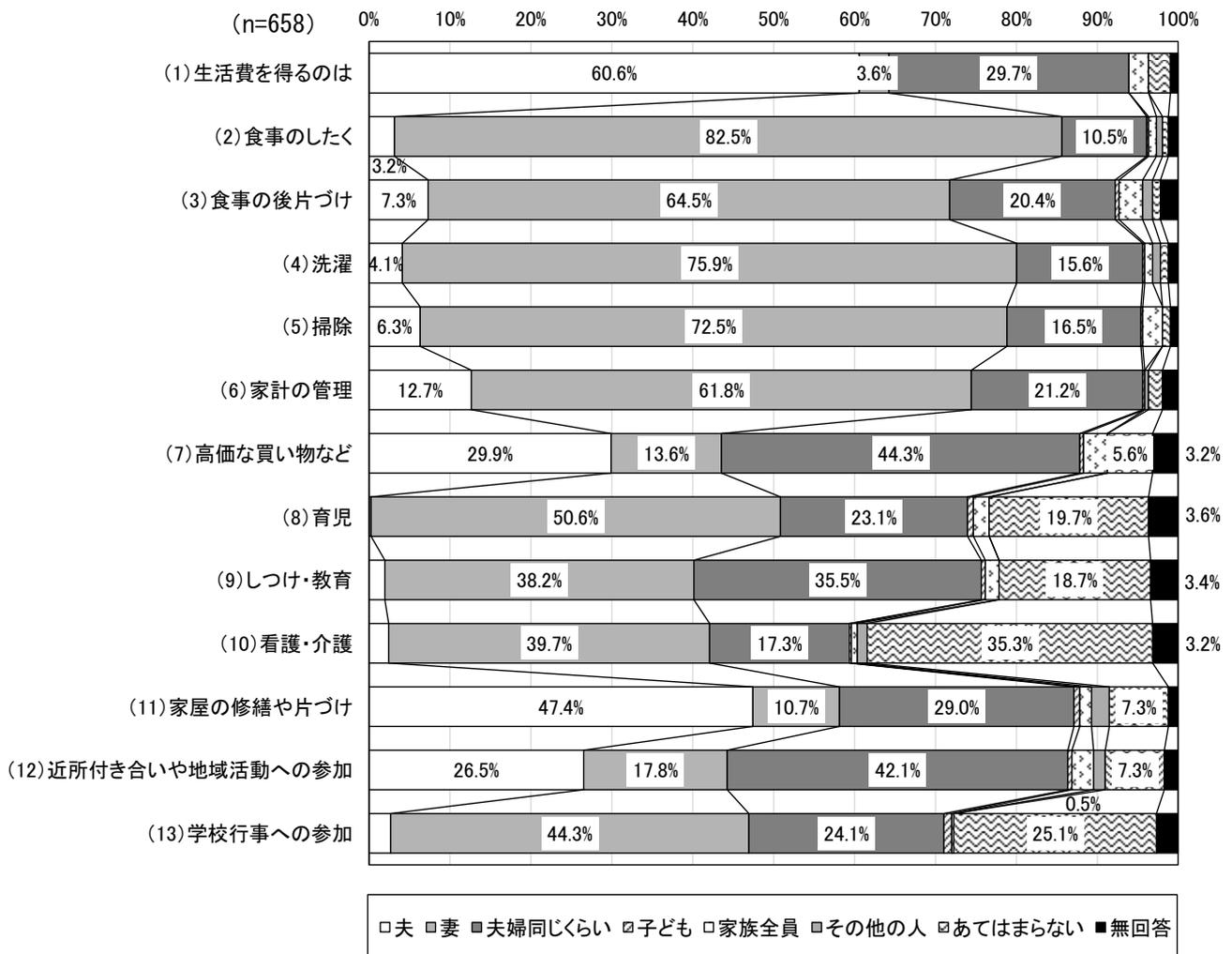


3. 家庭生活について

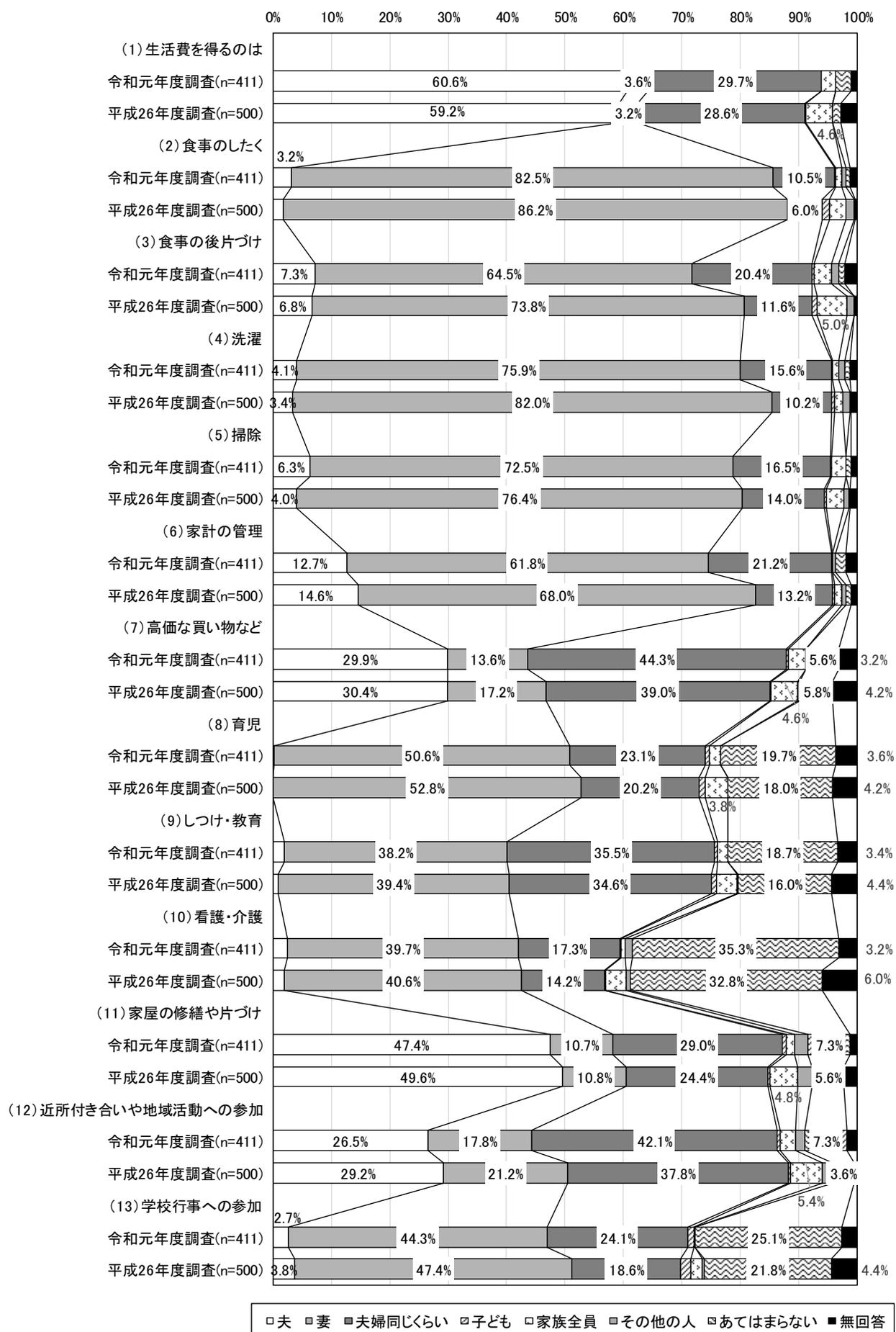
問3【現在、結婚（事実婚を含む）されている方に伺います】

あなたの家庭では、「(1) 生活費を得るのは」から「(13) 学校行事への参加」について、主にだれが役割を分担していますか。（それぞれ1つに○）

あなたの家庭での役割分担では、「夫」の回答が多い項目では、「(1) 生活費を得るのは」が最も多く、次いで「(11) 家屋の修繕や片づけ」、「(7) 高価な買い物など」となっています。「妻」の回答が多い項目では、「(2) 食事のしたく」が最も多く、次いで「(4) 洗濯」、「(5) 掃除」となっています。「夫婦同じくらい」の回答が多い項目では、「(7) 高価な買い物など」となっています。また、「あてはまらない」の回答が多い項目では、「(10) 看護・介護」が最も多く、次いで「(13) 学校行事への参加」となっています。



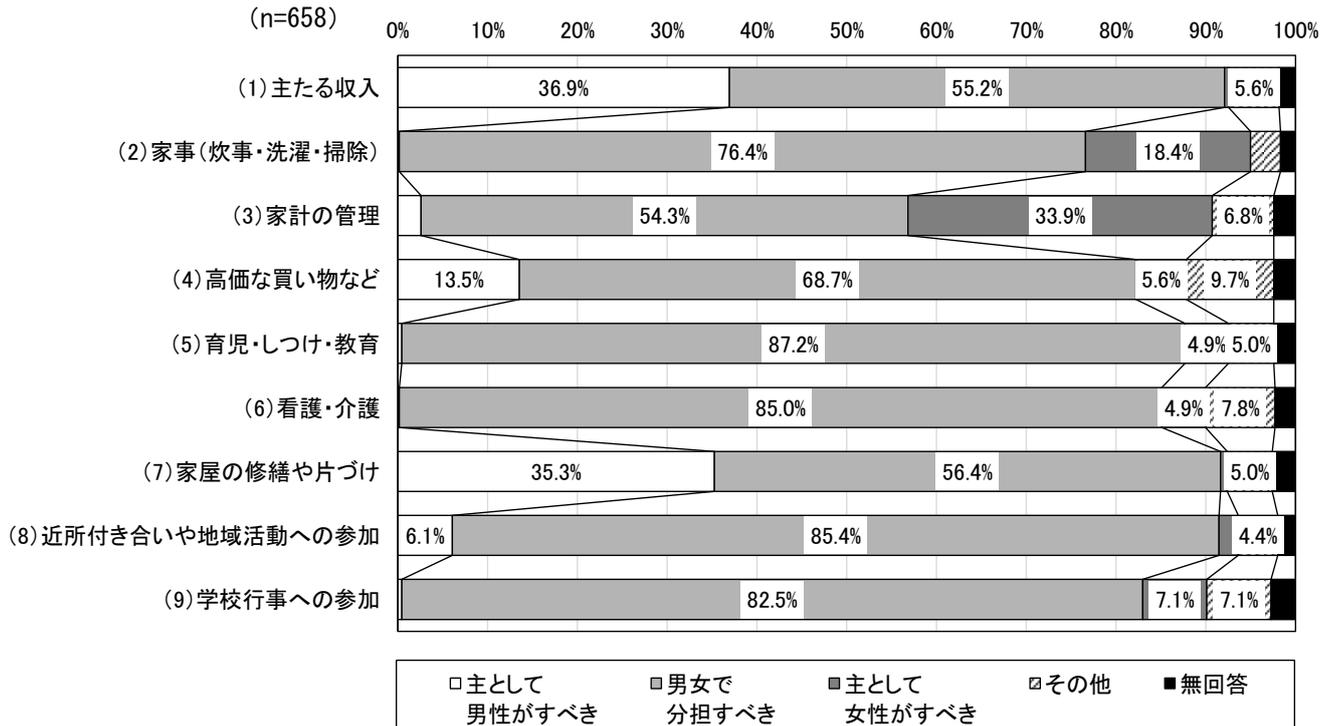
前回調査と比較すると「(3) 食事の後片づけ」「(4) 洗濯」「(6) 家計の管理」が「妻」という回答が少なくなり、「夫婦同じくらい」多くなっています。



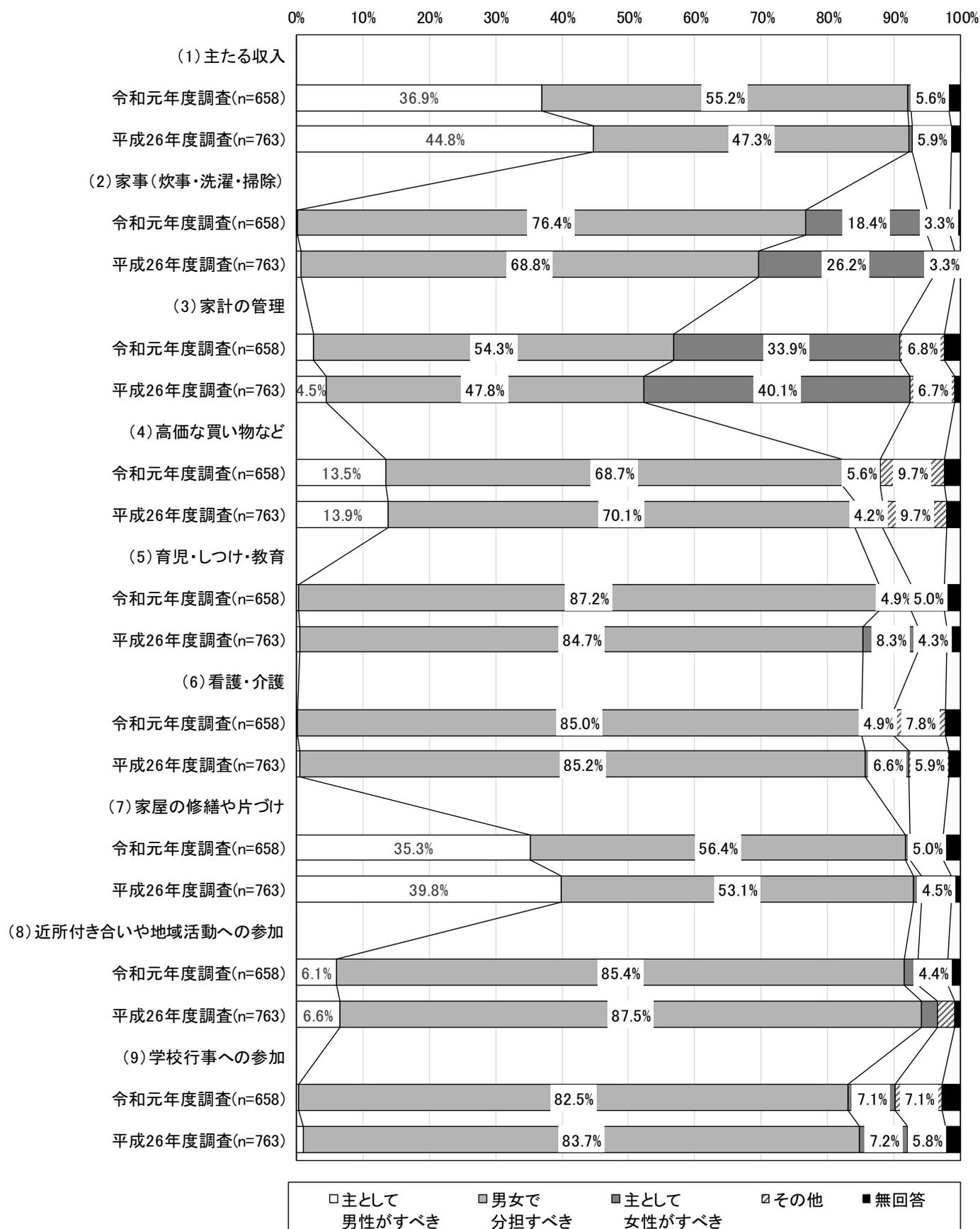
問4【全員の方に伺います】

あなたは、次の家庭内の役割について、どのように分担するのが理想だと思いますか。
 (それぞれ1つに○)

家庭内の役割では、「主として男性がすべき」の回答が多い項目では、「(1) 主たる収入」、「(7) 家屋の修繕や片づけ」が3割を超えています。「男女で分担すべき」の回答が多い項目では、「(5) 育児・しつけ・教育」、「(6) 看護・介護」、「(8) 近所付き合いや地域活動への参加」、「(9) 学校行事への参加」が8割を超えています。「主として女性がすべき」の回答が多い項目では、「(3) 家計の管理」が最も多く、次いで「(2) 家事(炊事・洗濯・掃除)」となっています。



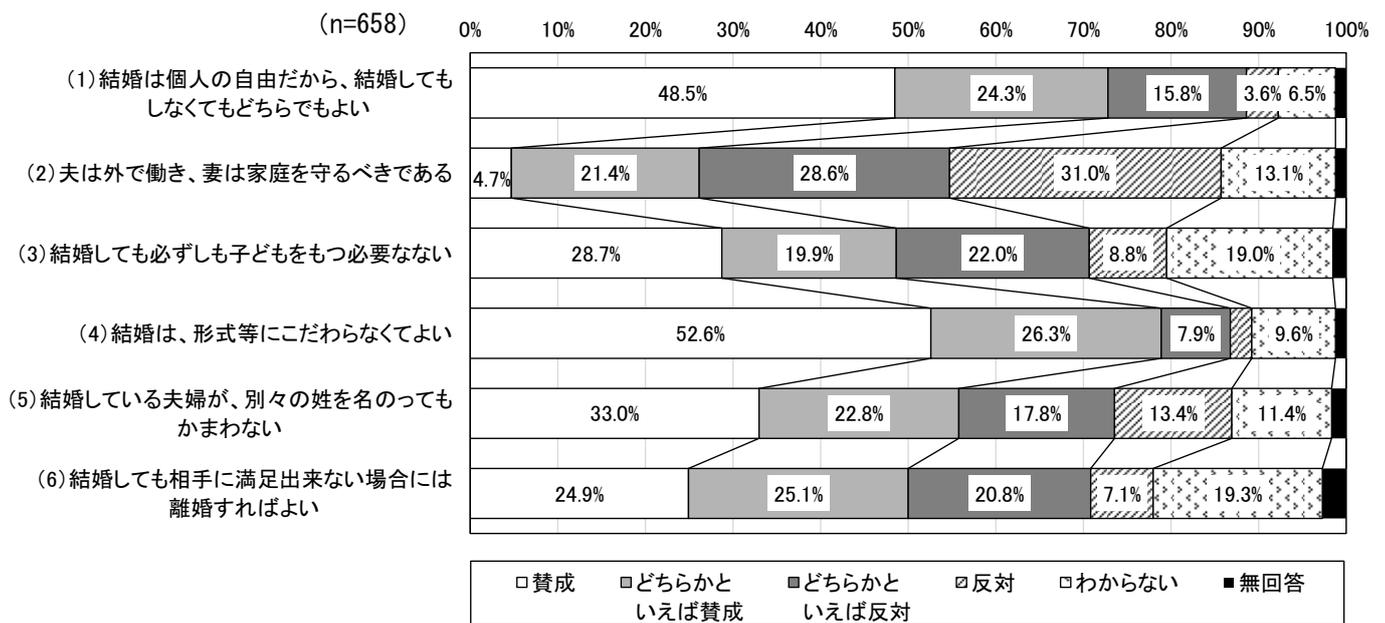
前回調査と比較すると「(1) 主たる収入」で、「主として男性がすべき」が今回調査で少なくなり、「男女で分担すべき」が多くなっています。また、「(2) 家事（炊事・洗濯・掃除）」「(3) 家計の管理」で、「主として女性がすべき」が今回調査で少なくなり、「男女で分担すべき」が多くなっています。



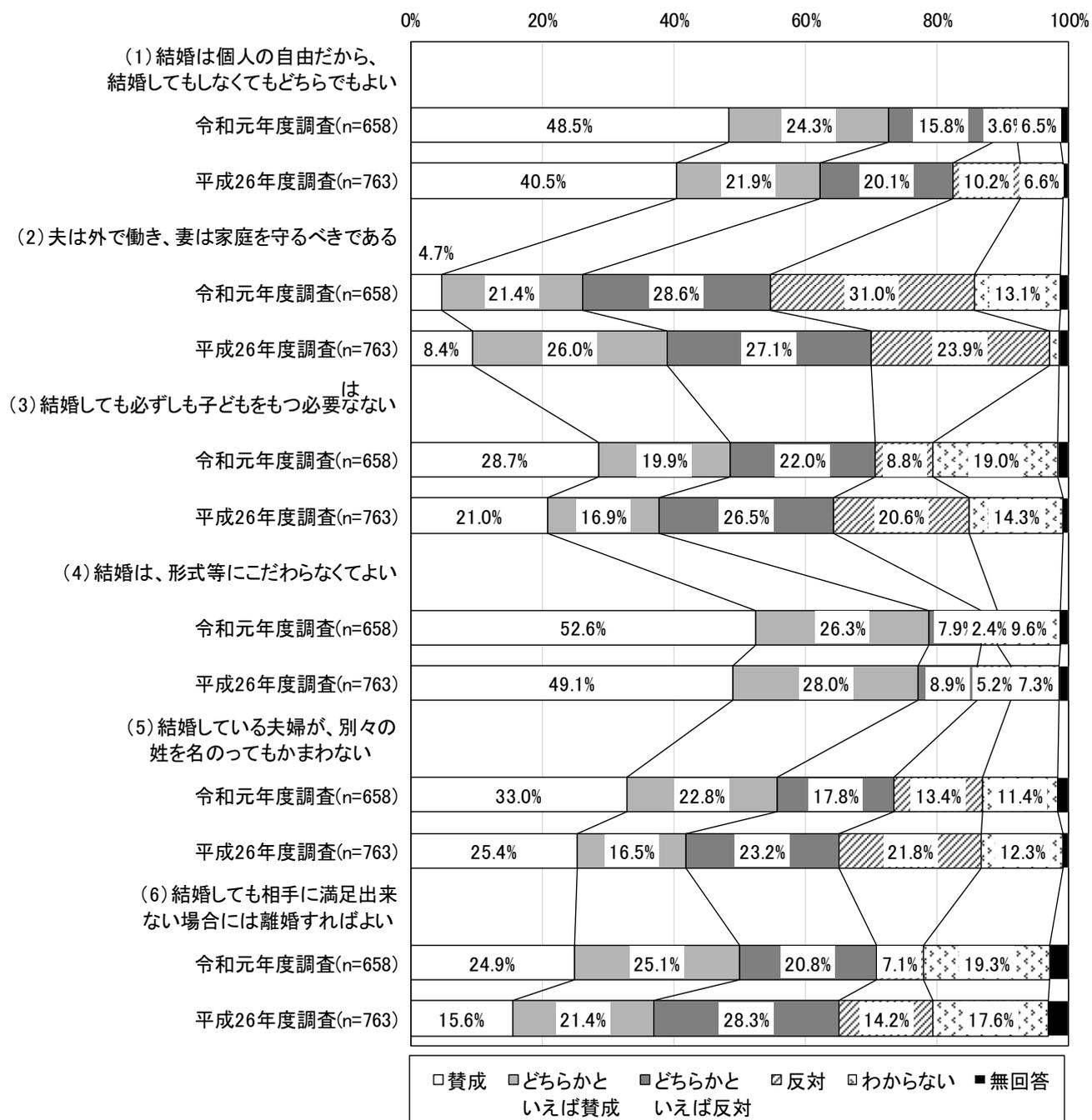
問5 あなたは、結婚や家庭観についてどう考えますか。次の「(1) 結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」～「(6) 結婚しても相手に満足出来ない場合には離婚すればよい」のそれぞれについてあなたの考えに近いものを選んでください。(それぞれ1つに○)

結婚や家庭観について思うことでは、「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせた『賛成』が多い項目では、「(4) 結婚は、形式等にこだわらなくてよい」が最も多く、次いで「(1) 結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」となっています。

また、「どちらかといえば反対」「反対」を合わせた『反対』が多い項目では、「(2) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」が約6割となっています。



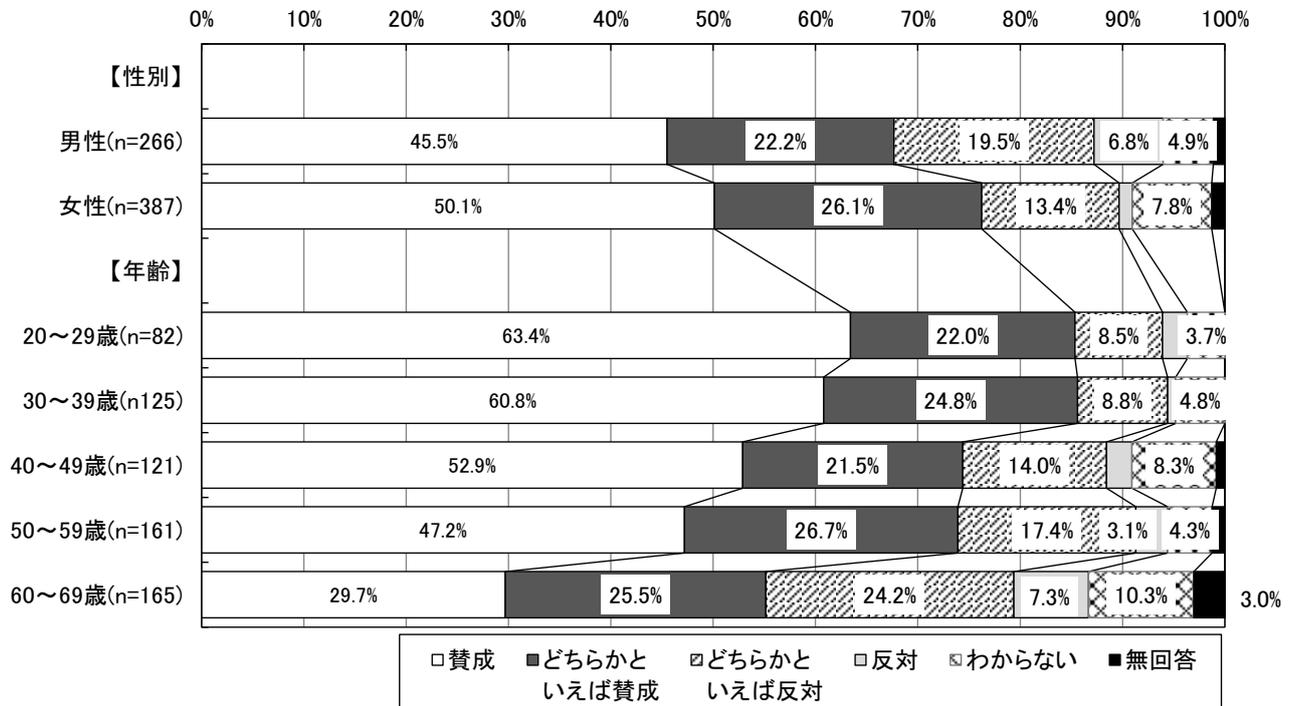
前回調査と比較すると「(1) 結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」「(3) 結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない」「(5) 結婚している夫婦が、別々の姓を名のってもかまわない」「(6) 結婚しても相手に満足出来ない場合には離婚すればよい」で、『賛成』が今回調査で10ポイント以上多く、『反対』が少なくなっています。また、「(2) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」で、『反対』が今回調査で多くなり、『賛成』が少なくなっています。



◇（１）結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもどちらでもよい◇

【属性別】

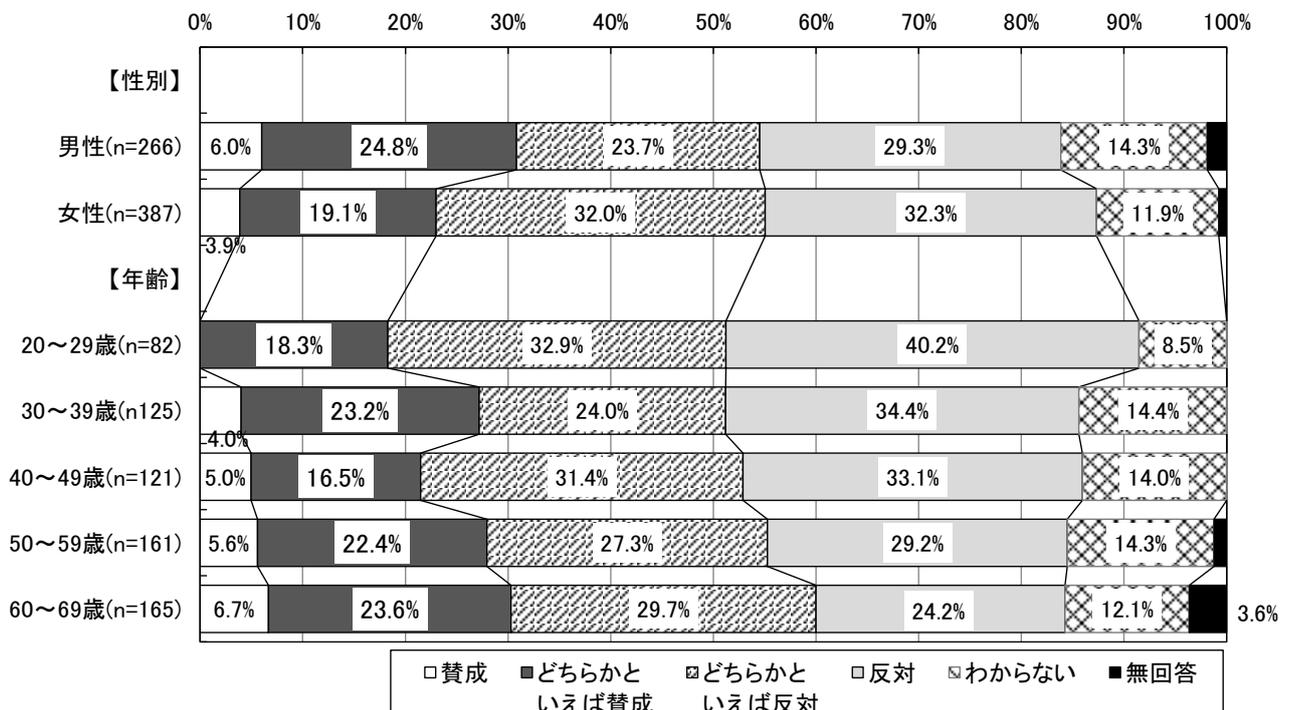
性別で比較すると、『賛成』では、男性よりも女性が8.5ポイント多くなっています。
 年齢別で比較すると、『賛成』では、年代が若くなるに従い多くなっています。



◇（２）夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである◇

【属性別】

性別で比較すると、『賛成』では、女性よりも男性が7.8ポイント多くなっています。
 年齢別で比較すると、『賛成』では、「60～69歳」が最も多く、次いで「50～59歳」「30～39歳」となっています。

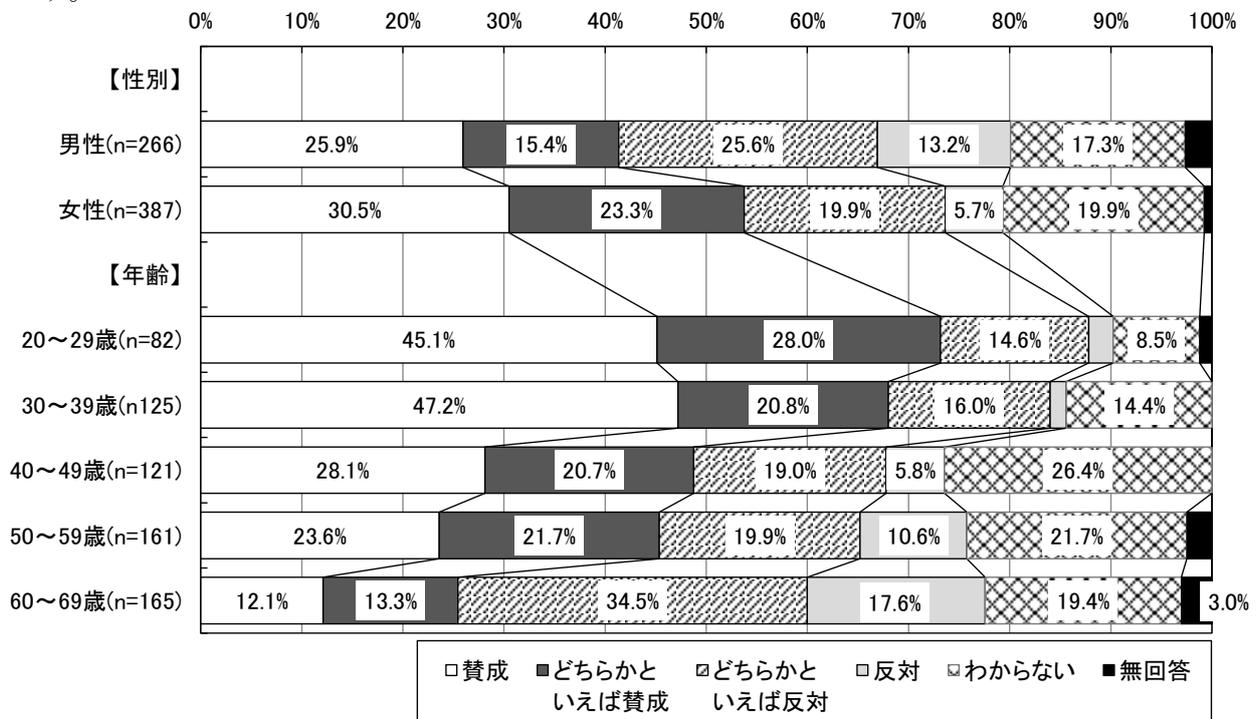


◇（３）結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない◇

【属性別】

性別で比較すると、『賛成』では、男性よりも女性が12.5ポイント多くなっています。

年齢別で比較すると、『賛成』では、「30～39歳」が最も多く、次いで「20～29歳」となっています。

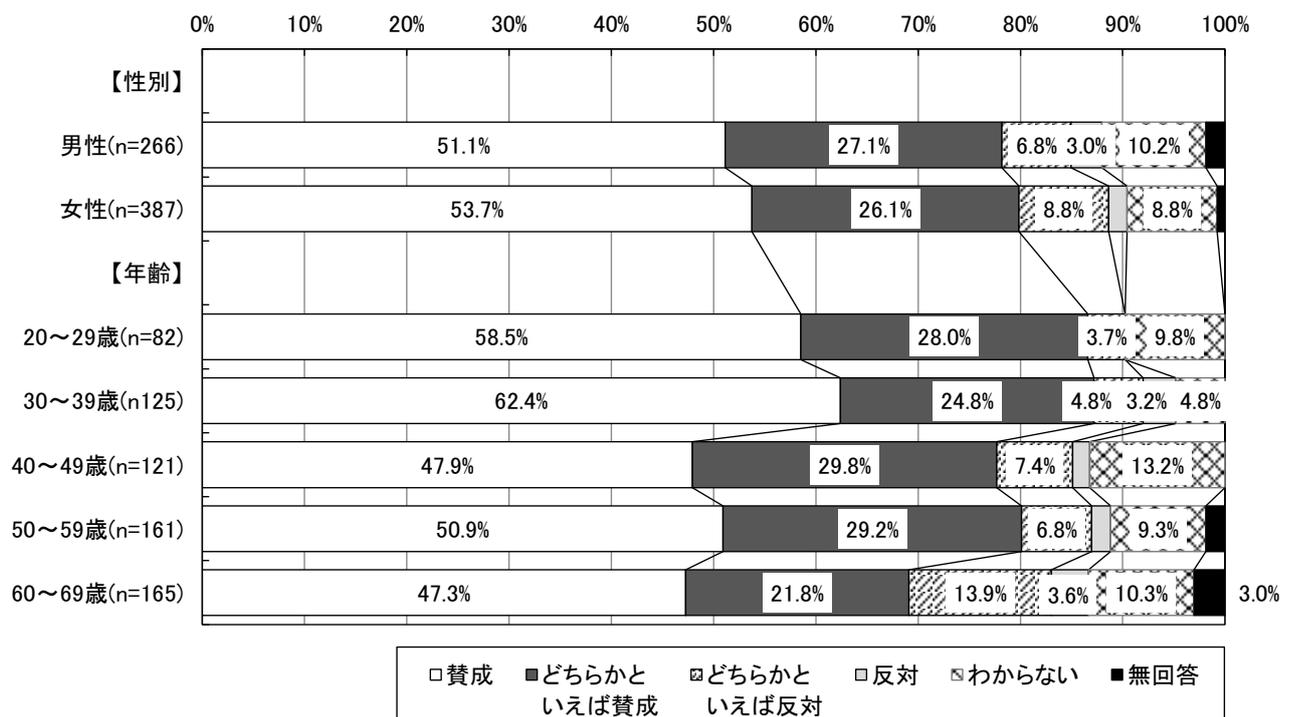


◇（４）結婚は、形式等にこだわらなくてよい◇

【属性別】

性別で比較すると、『賛成』では、男性よりも女性がやや多くなっています。

年齢別で比較すると、『賛成』では、「30～39歳」が最も多く、次いで「20～29歳」となっています。

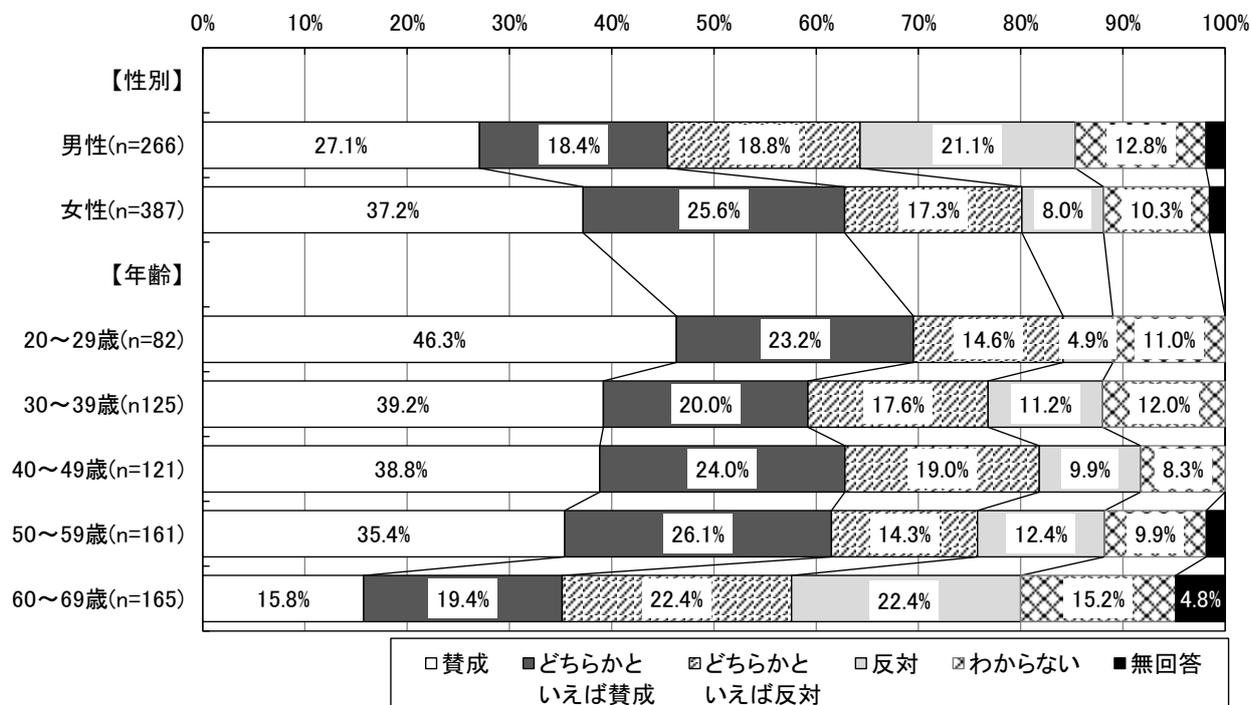


◇（５）結婚している夫婦が、別々の姓を名のってもかまわない◇

【属性別】

性別で比較すると、『賛成』では、男性よりも女性が17.3ポイント多くなっています。

年齢別で比較すると、『賛成』では、「20～29歳」が最も多く、次いで「40～49歳」「50～59歳」となっています。

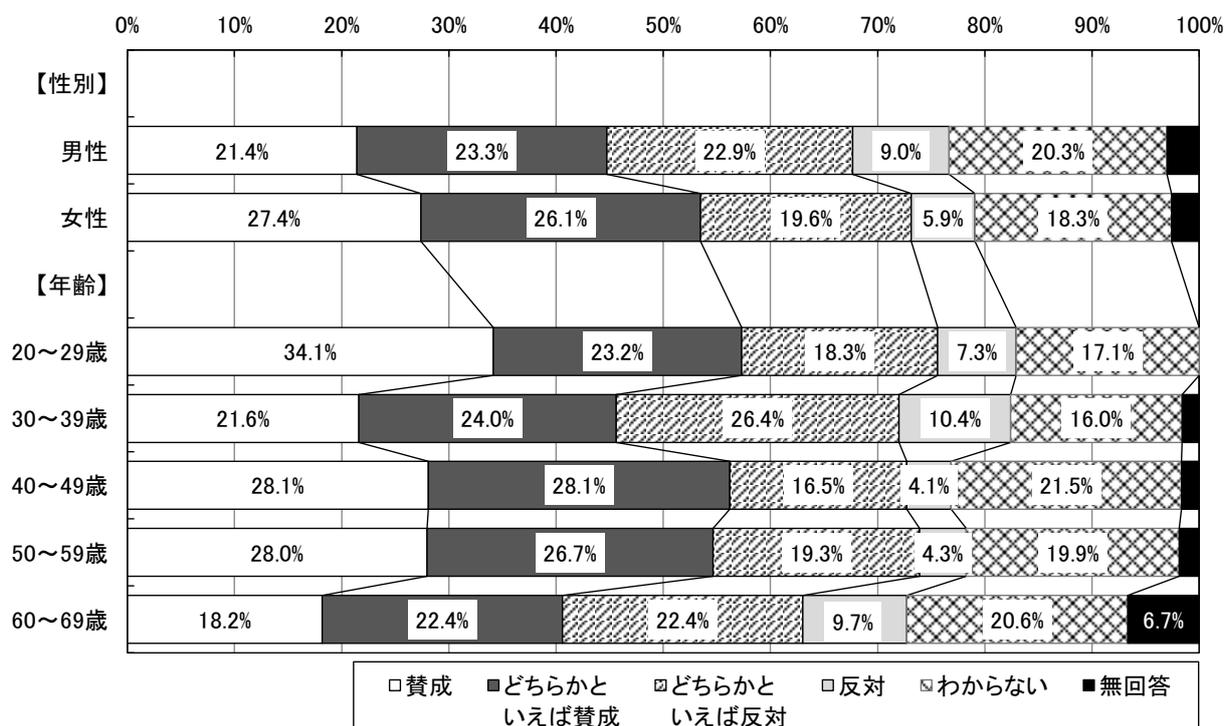


◇（６）結婚しても相手に満足出来ない場合には離婚すればよい◇

【属性別】

性別で比較すると、『賛成』では、男性よりも女性が8.8ポイント多くなっています。

年齢別で比較すると、『賛成』では、「20～29歳」が最も多く、次いで「40～49歳」「50～59歳」となっています。



◇（７）その他の回答◇

- 結婚しても子供が出来なかったり、育児放棄してしまう家庭があるので無理に結婚をする必要はないと思います
- 夫婦とはこうあるべきだと若い時は思っていたが一緒に暮らし続けて今では年もとり年金暮らしをしており全く話せずしかし一軒で一緒にいます。色々な夫婦の形があっても良いと思っています。
- 結婚の形は時代により多様化している
- 家庭はその上で成り立つと思います。結婚によって得ることもたくさんあります、がまんもたくさんあります。
- その家庭の形が正解ではないでしょうか
- 再婚で子供がいても、除籍届は親権者でなくてもできるようにしてほしい。（子供が未成年で親権者が入籍しないと子どもだけ名前が残ってしまうのはおかしい）離婚の際に親権者の戸籍にはいるようにしてほしい。
- 農家や共働きの家庭では考え方も色々だと思う
- 孤独にならなければ良い生活ができると思う
- 結婚はしないより1度はした方がいいと思う
- 結婚、家庭観については生活歴や背景、時々環境によって生まれると考えます。よって（3）の質問は簡単には答えられない
- ・20代前半（若い子）の早い出産、結婚が多すぎる。・子供のしつけへのマナーが悪い。
- （2）～（6）は夫婦で話し合っただけで決めればよいと思う。いろいろな夫婦の形があると思うので。
- 事実婚状態であっても、市からの補助を受けるため結婚せずシングルファザー（マザー）として子育てしている人が増えていると感じる。
- やれる時にやれる人がする。共働きならなおさら。
- 対人関係においては全てが満足することはあり得ないので、マイナス面にこだわる前に良い面を認識してコミュニケーションを向上すべきである。
- 子どもがいる、いないで状況が違うと思う
- 日本のみ結婚後の夫婦別姓が認められていない事。
- 良き理解者に巡り合えたら性別もこだわらない
- 性格、状況などによりケースバイケースだと思う
- 結婚によって社会生活において区別されることがないようであれば良いと思う（良悪ともに）
- 夫婦2人だけの場合と子供がいる夫婦の場合で考え方が変わると思う
- 初心にかえってお互い話し合う方法を考える
- 結婚する事により人間的にも成長できると思います。
- 必ずしも異性間でなくてもいいと思う。（同性婚に賛成）
- 個人のことだから周囲が何か口出しするのはどうかと思う。